



2024年7月2日

各 位

会社名 株式会社関西フードマーケット
代表者名 代表取締役社長 林 克弘
証券コード 9919(東証スタンダード)
問合せ先 取締役 渡邊 学
TEL 072-744-5701 (代表)
URL <https://www.kansai-foodmarket.co.jp/>

支配株主等に関する事項について

1. 親会社等の商号等

(2024年3月31日現在)

親会社等	属性	議決権所有割合			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	親会社	64.89%	—	64.89%	東京証券取引所 プライム市場

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、その他の上場会社と親会社等との関係

①親会社等との取引関係や人的・資本関係

当社の親会社であるエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社は、関西エリアを中心に、百貨店、食品スーパー、商業施設、専門店やコンビニエンスストアなどを展開する企業グループを統括する持株会社であります。

当社は、2021年12月、同社並びに同社の子会社（現在は当社の子会社）であるイズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスとの経営統合により同社の子会社となりました。また、2023年4月、イズミヤ株式会社及び株式会社阪急オアシスは合併し、存続会社である株式会社阪急オアシスの商号をイズミヤ・阪急オアシス株式会社に商号変更いたしました。当社は、食品スーパーを運営する株式会社関西スーパーマーケット及びイズミヤ・阪急オアシス株式会社の持株会社であり、エイチ・ツー・オー リテイリンググループにおける食品事業の中核会社として、経営上の独立性を保ちながら同社及び同社グループ会社（当社及び当社子会社を除く。以下同じ。）との連携・結束を高めつつ、企業価値の向上に努めております。

当社は、同社との間で資金の借入及びグループ運営負担金の支払い等の取引関係があります。また、当社の子会社と同社及び同社グループ会社との間には不動産の賃貸借、資金の貸借、情報システムの賃借、業務の受委託及び商品の仕入等の取引があります。

当社取締役（監査等委員である取締役を含む）9名のうち4名が、同社及び同社グループ会社で兼務しております。また、業務体制の強化のため、同社及び同社グループ会社より10名の社員を受け入れております。

なお、当社は、2024年5月15日付公表の「エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社による株式会社関西フードマーケットの完全子会社化に関する株式交換契約締結（簡易株式交換）のお知らせ」に記載のとおり、同日開催の取締役会において、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社を株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を実施することを決定しております。その後、2024年6月20日開催の当社の定時株主総会において、「当社とエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社との株式交換契約承認の件」が原案どおり承認可決されましたので、2024年7月31日を効力発生日として本株式交換を実施する予定であり、本株式交換の実施に伴い当社

株式が上場廃止となる予定です。

(役員・兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ 企業での役職	就任理由
代表取締役社長	林 克弘	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 代表取締役副社長 株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 代表取締役社長	親会社グループの食品 事業の責任者としての 経験、見識等を活かし て当社の企業価値向上 を図るため。
取締役	梅本 友之	株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役専務執行役員 カナート株式会社 取締役	イズミヤ・阪急オアシ ス株式会社の専務取締 役であり、その経験、 見識等を活かして当社 の企業価値向上を図る ため。
取締役	永田 靖人	株式会社エイチ・ツー・オー 食品グループ 取締役専務執行役員	イズミヤ・阪急オアシ ス株式会社の専務取締 役であり、その経験、 見識等を活かして当社 の企業価値向上を図る ため。
取締役	渡邊 学	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 常務執行役員	経営管理に関する豊富 な実務経験を活かして 当社の企業価値向上を 図るため。

②親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的資本関係などから受ける経営・事業活動への影響等

当社グループは一般消費者が主要顧客であり、親会社等からの事業上の制約やリスクはありません。

当社は、親会社等との連携・結束を強めていくことにより、関西商圏におけるマーケットシェアの拡大を、より効率的・効果的に進めていくことができると考えております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

有価証券報告書に「関連当事者情報」として次のとおり記載しております。

【関連当事者情報】

1. 関連当事者との取引

(1) 連結財務諸表提出会社と関連当事者との取引

連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	エイチ・ツー・オー リテイリング(株)	大阪市 北区	17,796	グループ会社 の経営企 画・管理	(被所有) 直接 64.89	資本業務提 携 役員の兼任	資金の借入	10,616	短期借入金	10,616
							利息の支払	30	その他流動 負債	-
							グループ運 営負担金の 支払	405	その他流動 負債	446

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
2. グループ運営負担金の取引金額については、グループ運営の対価として妥当性を勘案し、契約に基づき決定しております。

(2) 連結財務諸表提出会社の連結子会社と関連当事者との取引

① 連結財務諸表提出会社の親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	エイチ・ツー・オー リテイリング(株)	大阪市 北区	17,796	グループ会社 の経営企 画・管理	(被所有) 直接 64.89	資本業務提 携 役員の兼任	資金の貸付	2,073	短期貸付金	3,399
							利息の受取	8		
							ソフトウェア等契約解約損	1,495	その他流動 負債	204

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 資金の回収については、グループ内の資金を一元管理するキャッシュ・マネジメント・システム(CMS)による取引であり、金利は市場金利を勘案して合理的に決定しております。また、CMSによる取引金額については前連結会計年度末残高からの増減額を表示しております。
2. ソフトウェア等契約解約損については、ソフトウェア開発の対価として妥当性を勘案し、契約に基づき決定しております。

② 連結財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び連結財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
兄弟会社	(株)ペルソナ	大阪市 北区	20	クレジット カード事 業・電子マネー 事業	-	-	クレジット 売上	14,571	売掛金	1,607
							電子マネー 売掛	58,099		
							クレジット・電子マネーの販売手数料	841	未払金	71
							電子マネー 預り	70,955	その他流動 負債	1,044

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 取引については、一般的取引条件によっております。

4. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社と支配株主との間で取引を行う場合につきましては、第三者と同等の取引条件により行い、少数株主に不利益を与えないように対応することを基本方針としております。

なお、取締役との競業取引及び利益相反取引については、事前に監査等委員会の承認がなされた後に、取締役会で決議することとし、また当社が、支配株主と少数株主の利益が相反する重要な取引や行為を行う場合には、独立社外取締役等で構成する特別委員会での審議を経たうえで、取締役会で決議することとしております。

以 上